

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

1
2
3
4

学年・教科

3 学年以上・総合

単元名

こんなものがでてきたら注意

実践者（所属）

川村 昌弘（末長小学校）

活動を始める前に

（1）準備するもの

コンピュータ（教師用機、児童用機 1 人 1 台）

【使用ソフト】Sky Menu、あんしん・あんぜん情報モラル、

（2）ICT機器やメディアの活用のねらい

インターネットには、不適切な情報があることを知り、最低限の危機回避の方法を知ることができる。

5

指導計画

（1 時間扱い）

時	児童の活動	指導上の留意点
1	コンピュータソフトを使い、インターネットを利用して実際に起こりそうなトラブルの場面を見て、自分たちがどういう行動を取ればいいのかを考える。	インターネットを自分が使っているときを想像しながら考えさせる。 もし、間違った対応をしてしまったときはどうすればいいのかを説明する。 インターネットを使う人はいい人ばかりでないことを知らせる。

6

活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
1	SkyMenu で教師用機の画面を転送し、「あんしん・あんぜん情報モラル」内の「こんなものがでてきたら」を視聴させる。 場面事にストーリーを止めどうしたらよいかを子ども達に考えさせる。 「情報モラルチェックシート」を使い学習の定着を計る。	インターネットに対するどんなイメージがあるのか発表する。 「こんなものがでてきたら」を視聴し、各場面事に自分はどうか対処したらよいか考え発表させる。 「情報モラルチェックシート」に答る。

7

取り組み後の子ども達の変容や成果

各場面事にストーリーを止められるので、その場面事に話し合い活動ができ、適切な対処の理解が深まった。

「情報モラルチェックシート」を使うことにより、ゲーム感覚で学習に参加でき、最低限の危機回避の方法を定着させることがスムーズにできた。

8

応用できます！

SkyMenu で教師用機の画面転送、URL の転送、児童用機のロック、電源管理などの基本操作を行ったり、教師用機でトラブルが発生した児童用機の手続きをしたりすることができるので、教師が児童に呼ばれて、右往左往するということがありません。

「あんしん・あんぜん情報モラル」には、授業の展開例や、指導上の留意点も詳しく載っているので簡単に授業が展開できます。

「情報モラルチェックシート」を授業の最後に使うと、授業のまとめにも役立ちます。